

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード	3-1-3		事業名	特別養護老人ホーム新築費補助事業
担当	保健福祉局保健福祉部高齢福祉課 武田 TEL 211-2976			
全 体 計 画				
事業内容	札幌市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画及び北海道介護保険事業支援計画に基づき、自宅での生活が困難になった高齢者が介護を受けながら生活することができるように、地域密着型特別養護老人ホームを整備する事業者を選定し、整備費補助を行う。		＜年度別の事業内容＞	
			平成19～22年度 定員29人分の施設を2カ所ずつ整備	
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)	
	1 福)モニカ「マリア園」定員:29人 場所:厚別区厚別町下野幌49-9、補助額:40,179千円 (H19-20工事 H20.10開設) ※ 福) = 社会福祉法人の略		1 福)秀寿会「幸寿園」定員:27人 場所:手稲区手稲本町3条4丁目2-35、補助額:60,000千円 (H20工事 H21.4開設) 2 福)悠生会「白ゆり南あいの里」定員:29人 場所:北区南あいの里5丁目4、補助額:5,600千円 (H20-21工事 H22.1開設) ※ 福) = 社会福祉法人の略	
	平成21年度事業内容(決算)		平成22年度事業内容(予算)	
	1 福)悠生会「白ゆり南あいの里」定員:29人 場所:北区南あいの里5丁目4、補助額:54,400千円 (H20-21工事 H22.1開設) 2 福)札幌山の手リハビリセンター「栄町」定員:29人 場所:東区北47条東16丁目711-3、補助額:121,500千円 (H21工事 H22.4開設) 3 福)いちはつの会「八軒ふくろうの森」定員:29人 場所:西区八軒9条西10丁目448-1他、補助額:121,500千円 (H21-22工事 H22.7開設予定) ※補助対象外(自主財源整備) 福)天寿会「ひびきの郷札幌」定員:29人 場所:南区定山溪温泉西2丁目36-1 (H21工事 H21.10開設) ※ 福) = 社会福祉法人の略		1 福)ノテ福祉会「(仮称)栄寿の里」定員:29人 場所:豊平区月寒西4条6丁目504-6他、補助額:121,500千円 (H22工事 H23.4開設予定) 2 福)札幌徳洲会「(仮称)徳洲苑コスモス」定員:29人 場所:清田区里塚2条2丁目620-1他、補助額:121,500千円 (H22工事 H23.4開設予定) ※ 福) = 社会福祉法人の略	

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	3-1-3			事業名	特別養護老人ホーム新築費補助事業		
達成目標の状況							
項目		18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (実 績)	21年度末 (実 績)	22年度末 (予 定)	22年度末 (目 標)
地域密着型特別養護老人ホームの入所定員数		51人	51人	80人	165人	281人	283人
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>■市民との連携、市民参加 公募市民を含めた委員で構成する介護保険事業計画推進委員会において、計画と事業実績との比較分析や次期計画策定のための審議等を行った。</p> <p>■企業等との連携・協働 [資金協力](該当なし) [人材協力](該当なし) [情報協力](該当なし) [その他の協力](該当なし)</p> <p>■市民・企業等が参加しやすい環境づくり (該当なし)</p>							
評価(成果)				課題			
<p>平成19年度整備事業として2カ所を予定していたが、うち1カ所は整備予定法人より計画断念の申し出があり整備には至らなかったが、平成21年度整備事業として3カ所の整備をしている。(うち1カ所は自主財源整備) また、平成22年度整備事業として2カ所を予定していることから、計画どおり事業の進捗が図られている。</p>				<p>地域密着型特別養護老人ホームは、定員が29人以下と小規模なため、スケールメリットが発揮できず、施設の経営難が懸念され、事業者がなかなか施設整備に踏み切れない状況にある。</p>			
今後の事業の予定・方向							
<p>市の高齢者保健福祉計画、介護保険事業計画に基づき、引き続き地域密着型特別養護老人ホーム及び広域型特別養護老人ホームの整備を進めていく。</p>							

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード		3-1-3			事業名	特別養護老人ホーム新築費補助事業	
事業費の推移							
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計	
計画	事業費	120,000	120,000	120,000	120,000	480,000	
	財源内訳						
	国・道支出金	80,000	80,000	80,000	80,000	320,000	
	市の債	0	0	0	0	0	
予算	事業費	120,000	139,821	297,400	243,000	800,221	
	財源内訳						
	国・道支出金	80,000	80,000	237,400	203,000	600,400	
	市の債	0	0	30,000	30,000	60,000	
実績	事業費	40,179	85,421	297,400	—	423,000	
	財源内訳						
	国・道支出金	40,000	45,600	237,400	—	323,000	
	市の債	0	0	30,000	—	30,000	
	その他の他	0	0	0	—	0	
	一般財源	179	39,821	30,000	—	70,000	
事業費の進捗率		(H19実績+H20実績+H21実績+H22予算事業費) / (計画事業費)				138.8%	
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)							
<p>《全体》</p> <p>[19年度] 着工予定2カ所のうち、1カ所が整備予定法人の計画断念の申し出により、着手できなかった。</p> <p>[20年度] 繰越明許費として19,821千円を予算計上しているため、計画費との差異がある。また、工事の遅れにより21年度に予算の一部を繰り越した。</p> <p>[21年度] 着工予定3カ所のうち、1カ所は自主財源整備。 繰越明許費として54,400千円の予算計上及び地域密着型特別養護老人ホームの国補助増額により計画費との差異がある。 ※国補助:1施設(29名規模)40,000千円から101,500千円に増額 市補助:1施設(29名規模)20,000千円(変更無し)</p> <p>[22年度] 着工予定2カ所。 21年度から地域密着型特別養護老人ホームの国補助が増額されており計画費との差異がある。</p>							